

媒体名	日本流通産業新聞	掲載日	2015年4月30日・5月7日合併号
-----	----------	-----	--------------------

タイトル	美白・美肌化粧品 特集
------	-------------

ニュートリション・アクト

DNA修復促す「AC-11」

内と外から美白・美肌を実現

植物由来の化粧品・健康食品素材「AC-11」は、DNA修復促進作用という独特の機能メカニズムを持つ。化粧品として塗布した際に、紫外線ダメージから肌を保護する作用を確認しているだけでなく、経口摂取した際の有効性についても科学的エビデンスを取得している。そのため、内と外から美白・美肌を実現できる素材として注目が高まっている。同素材は、健康食品・化粧品のOEM製造などを行うニュートリション・アクト（本社東京都、石川雅仁CEO、☎03-5475-7313）が提案している。

紫外線や活性酸素により1日最大50万回の損傷を受けるとされるDNAについて、修復機能をサポートする働きを持つことが確認されているのが、キャットクロウの熱水抽出エキス「AC-11」だ。塗布および経口摂取によって効果を発揮する。

化粧品として塗布した際の有効性はさまざまな試験で確認している。3次元皮膚モデルに紫外線を照射した試験では、AC-11塗布群で、照射24時間後の皮膚組織中の損傷DNAの修復効果が確認された。サンバイン細胞（紫外線による細胞壊死）数も約95%抑制されることが確認された。この結果からは、光老化（紫外線を浴びることによって引き起こされるシミ・しわなどの老化現象）の抑制に、同素材が有効であることが示唆された。

実際に、紫外線照射後の日焼け肌におけるAC-11の美白効果を、代表的な美白成分であるコウジ酸と比較したヒト試験では、コウジ酸を上回る美白効果が確認された。また、42人を対象にしたヒト試験では、AC-11配合のサンスクリーン剤の塗布が、日光による紅斑・水ぶくれの発生率を有意に減少させることも確認している。

経口摂取を想定した試験でも、紫外線や酸化ストレス、放射線によるDNA損傷の修復促進作用を確認。肌への効果を調べた試験では、柔軟で弾力のあるⅢ型コラーゲンの量が10日間で約4・7倍に増加した。塗布・経口摂取の両面で有効性が確認されていることから、内外美容素材としての引き合いが増えているという。ユーザからは体感の報告も多数寄せられており、配合製品のリピート率も高いという。同社では、美肌素材として「アルガンオイル」も提案している。同社のアルガンオイルは①充実した機能性データ②厳格な品質管理体制③「フェアトレード」など、差別化できるストーリー性のすべてを兼ね備えており、人気が高いという。